

# ご存じですか！文化財

85



問合せ  
生涯学習課  
(☎0480・62・1223)



所在地 向古河503

向古河の鶯神社に奉納される『天王宮のささら』は、北川辺地域に残る唯一の獅子舞です。

獅子は3頭で、毎年、4月の春祭りでは神社への奉納後に疫よけとして地区内を巡り、7月の夏祭りでは神社への獅子舞の奉納を行っています。

十数年前、胴(ど)獅子が腰に着ける小太鼓(こたご)の修理をしたところ、享保11(1726)年の墨書が確認され、およそ300年もの伝統があるこ

とが分かります。

また、このささらの残る天王宮地区には大杉(おおすぎ)獅子(しん)も傳承(くわんじょう)されていて、かつての小字(こあざ)に相当する一地区に、獅子舞と囃子(はやし)が共に残っていることは、大変珍しいことだと言われています。

昭和30年代ごろまでは多くの人出でにぎわった祭礼も、昭和40年代ごろには、後継者不足で中断を余儀なくされました。

昭和53(1978)年ごろに再興されましたが、今また深刻な後継者不足に直面しています。

今後、後継者を育成することが重要な課題となっています。

紹介者 渡辺 章さん(向古河)

